

第 62 回重症心身障害児(者)を守る全国大会 実施要綱

[敬称略]

1. と き

令和 7 年 9 月 20 日 (土) ～ 9 月 21 日 (日)

2. と こ ろ

札幌パークホテル

〒064-8589 北海道札幌市中央区南 10 条西 3 丁目

TEL : 011-511-3131 FAX : 011-531-8522

3. 内 容

分科会、基調講演、式典等

4. 主 催

全国重症心身障害児(者)を守る会

社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会

北海道重症心身障害児(者)を守る会

5. 後 援 (予定)

こども家庭庁 厚生労働省 文部科学省 北海道 札幌市

社会福祉法人全国社会福祉協議会

公益社団法人日本重症心身障害福祉協会

独立行政法人国立病院機構重症心身障害協議会

社会福祉法人北海道社会福祉協議会

社会福祉法人札幌市社会福祉協議会

6. 参加者数

約 600 名

7. 問い合わせ先

社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会 事務局

〒154-0005 東京都世田谷区三宿 2 丁目 30 番 9 号

Tel (03) 3413-6781 Fax (03) 3413-6919

8. 大会次第(案)

[第1日目] 令和7年9月20日(土)

時 間	内 容
12:00～13:00	◆受 付
13:00～14:00	◆行政説明 障害児支援施策の動向(仮) こども家庭庁支援局 障害児支援課 課長 小野 雄大
14:00～14:20	会場移動
14:20～17:00	◆分科会 《第1分科会》(国立施設部会) テ - マ: 「重症児者病棟を守っていくための病院と保護者との連携」 パネリスト: 金兼 千春(国立重症心身障害協議会会長) 石原 寛人(国立病院機構本部 医療企画専門職) 意見発表: 和多 正景(福岡県支部長) コーディネーター: 雨宮 孝久(国立施設部会長) 藤澤 喜一(国立施設部会) 《第2分科会》(重症児施設部会) テ - マ: 「これからの重症児者施設の在り方」 ～豊かに生きるために～ パネリスト: 岡崎 俊彦(こども家庭庁 移行支援専門官) 松崎 貴之(厚生労働省 障害福祉専門官) 平元 東(医療福祉センター札幌あゆみの園園長) 藤田 之彦(保健医療・福祉施設あしかがの森所長) コーディネーター: 青木 建((社福)全国重症心身障害児(者)を守る会理事) 坂田 和夫(重症児施設部会長) 《第3分科会》(在宅部会) テ - マ: 「希望につなぐ移行期支援」 ～住み慣れた地域で暮らしたい～ パネリスト: 大塚慎之介(こども家庭庁 障害福祉専門官) 青木健一(厚生労働省 障害福祉課長補佐) 菅野 和彦(文部科学省 視学官(併)特別支援教育調査官) 土畠 智幸(北海道医療的ケア児等支援センター長) コーディネーター: 岩井 正一(在宅部会) 三嶋 末子(静岡県支部長)

	《第4分科会》（母親部会） テーマ：「母親の願いは活動の原動力」 挨拶： 小山京子（母親部会長） ◎グループ討議（各グループに分かれて意見交換） 講評： 古川英希（全国重症心身障害児（者）を守る会顧問） 司会等： 京谷美智子（母親部会）
18:00～20:00	◆懇親会

〔第2日目〕 令和7年9月21日（日）

時 間	内 容
8:30～	◆受付
9:00～10:00	◆基調講演 林 時仲（北海道療育園 園長） 重症心身障害児者が豊かに生ききるために（仮）
	休憩（舞台転換）
10:30～12:00	◆式典（司会：藤澤喜一） 10:31 開会のことば 北海道ブロック長 太田由美子 10:32 主催者挨拶 会長 安部井聖子 10:37 来賓祝辞 こども政策担当大臣 厚生労働大臣 文部科学大臣 北海道知事 札幌市長 日本重症心身障害福祉協会 理事長 国立重症心身障害協議会 会長 11:09 壇上来賓紹介 11:10 意見発表 （在宅）北海道ブロック 中川弘子 （施設）福島県支部 室井 貴子 11:35 来賓紹介 司会者 11:40 祝電披露 司会者 11:45 施設長等紹介 司会者 11:53 要望書採択 北海道ブロック 金澤 明菜 11:58 次期開催地挨拶 熊本県支部長 坂田 和夫 11:59 閉会のことば 司会者 12:00 終了